市政に関する一般質問の概要

9月20日、21日に議員21名が市の考えをただしました。主な質問、答弁の要旨を紹介します。

一般質問では、市議会議員が市長などの執行機関に対して、海老名市の行政事務全般にわたってその執行状況や今後の方針などについて説明を求め、議員の考えを表明するなど、よりよい市政を目指してさまざまな議論が行われています。

今回は、市民に身近な問題から市の将来に関する問題まで、59項目の一般質問がありました。

一般質問をはじめ、本会議の様子はインターネット中継されています。

会議録はインターネット上で公開しています。ぜひご覧ください。

＜本会議インターネット中継＞　市のホームページから「海老名市議会」→「インターネット議会中継」

＜会議録検索画面＞　市のホームページから「海老名市議会」→「会議録検索」

ごみの減量化について

創志会　藤澤　菊枝

問　廃棄物の減量化、資源化、適正処理等に関する条例の一部改正が本定例会に上程されていますが、この改正に伴い、ごみの減量化策としてどのような効果を見込んでいるのか伺います。

答　**（経済環境部長）**…この改正による減量効果は、今までは可燃ごみや不燃ごみとして処分していたものが、リサイクルや資源の循環につながり、その結果焼却量が減少すること。さらに、物を安易に捨てずに再利用するといった排出抑制効果にも期待しています。

削減量について、近隣他市の粗大ごみの排出状況から推計し、リサイクル、資源化、排出抑制を合わせ、年間約20トンと見込んでいます。

問　市民への周知はどのような方法で行うのか、伺います。

答　**（経済環境部長）**…広報えびなや市のホームページに加え、「資源とごみの分け方・出し方」という冊子を改訂し、全戸配布を予定しています。また、ごみの集積所にも事前周知の看板などを設置していきたいと考えています。

さらに、現在運用されているごみの情報発信ツールアプリの有効性も検証し、今後の導入について検討したいと考えています。

11月中に改訂版を配布予定

学用品等経費負担のあり方について

創志会　久保田　英賢

問　学用品などの経費負担における保護者負担分と保護者負担軽減策の取り組みについて伺います。

答　**（教育長）**…制服、ジャージ、技能実技の教材、修学旅行費など、小学校6年間で1人当たり平均約45万円、中学校3年間で約21万円の保護者負担がかかっています。

また、市では、新入学児童・生徒にかかる教材費や賠償保険への加入など、年額で計11億円超の公費負担をしています。

問　海老名中学校と有馬中学校では、体操着に関しては特に指定がなく、ある程度同じものであれば認められていると聞きましたが、その内容について伺います。

答　**（教育長）**…そのような事実があり、他校の保護者も初めて知る状況でした。現在1つの業者のみで扱っているので、本当に指定が必要かどうかなどを議論し、結論を導ければと考えています。

問　平塚市では、制服、ジャージ、修学旅行、卒業アルバムなどについて、学校の物資選定委員会が作成する仕様書に基づき、プロポーザル方式を導入して業者選定を行っています。本市もこういった競争原理を活用すべきと考えますが、見解を伺います。

答　**（教育長）**…細部まで規定する仕様書ではなく、企画書のようなものを学校が作る方式は、参考にして進めたいと思います。

その他の質問

・海老名駅西口地区の現状と将来予測について

市民の健康づくりについて

公明党　日吉　弘子

問　平均寿命が過去最高になる中、死因トップのがん対策が重要であり、がん検診率を向上させることが市民の健康づくりの大きな柱になります。

そこで、①乳がん、子宮がん検診の啓発を乳幼児健診で実施

②自己触診法の促進のために、触診モデル・模型の幅広い活用

③検診受診者の方に検診費用のお得感をだすリーフレットを作成し、がん検診の通知の中に同封する

④医療費の削減にむけてジェネリック医薬品希望カードの配布拡大―についての考えを伺います。

答　**（保健福祉部次長）**…①大変いい機会であり、方策を検討し、周知を行っていきたいと考えています。②日常生活の中で、自分でチェックをすることが早期発見につながると考えており、乳幼児健診や毎月15日に商業施設で行う健康相談の会場などで実際にさわったり、体験していただくなど、積極的に検討してまいります。③受診率向上につながると考えており、周知の方法として、同封するタイミングや機会などを検討してまいります。④窓口での配布や、ホームページからのダウンロードなどの方策を実施したいと考えています。

その他の質問

・応急手当の普及啓発について

・「住みよいまちづくり条例」に基づいた開発指導と市民への配慮について